

敬虔な心 けいけん こころ —作法是宗旨 さほうこれしゅうし 行いは心の母 おこな こころ はは (六版)

畳の上たたみ うえに膝ひざをつき  
足あしが痛いたくも正座せいざせん

正座せいざが長ながくて窮屈きゆうくつだ  
足あしが痛いたくて耐たえられん  
端はなから胡座あぐらで通とおそうか

和わの不作法ふさほう

腰掛こしかけあれば親切しんせつだ  
我われ先陣さきじん取りお喋しゃべりも  
背せもたれ足組あしぐみ恥はじとせぬ

洋ようの不作法ふさほう

敬うやまう心こころは何処どこにある  
虔つつしむ心こころをお忘れわすれか

先まずは謹つつしみ正座せいざを努つとむ

和わの作法さほう

椅子いすに掛かけなば先まずは立たつ  
行おこないに敬うやまい虔つつしみ表あらわれん

洋ようの作法さほう

宮城県大崎市 瑞川寺住職 木村謙文